

我軍張家口左占領

ハナリ、本空襲に於て敵戦闘機と
空中戦の結果、我が一機は敵弾撃
撃を受け、一名の爆傷左生じたる
全機無事帰還セリ。

海軍力互以て 中華民国公私船の交通應對することを宣言す。本艦は中華民國船に對しては總べてその効力を有すべく、第一三國船及び帝國船舶は廈門區域 情互相處の上、一般戻

故原利吉 道標式の際は御多用
中の處態々御参列被成下難有奉深
謝候

支那船の沿海交通を 我海軍は遮断せん

青島の同胞を愈々引揚

レ画ちに終領事
より居留民團

中國行政院會議

左可決
七選手は、軍内部の都合により東京大会準備を中止する旨、廿五日陸軍省から発表したので、一部では東京大会準備の上に、暗影互投

東京廿九日、海軍省副官談、廿
〇〇海軍航空部隊の〇〇〇機、廿
廿四日の午後九時半頃、南京城へ
行、撃互爆撃し、多數敵飛行機を
破壊せしめ、多大の損害を蒙

ハ上海廿九日、第三艦隊司令長官
長谷川中將は廿九日午後西時左の
宣言互發した。
本官は昭和十三年八月廿九日午
後六時より東経百廿一度四十四
分より北緯廿三度十四分、東経
百十六度四十八分に至る中華民
國沿海を本官の指揮化に屬する

(青島廿九日) 外陸海軍先遣三官
軍は廿九日午后二時から領事官
即ち時局対策議の結果、北支及
次上海方面に於ける輸局拡大し

中国行政院會議

英 上海事件五中心之圖識開催

米国の態度に甚だ失望

倫敦廿五日、チャーンハム
英首相は廿五日イーテン

相以下在京閣僚左招集一
議互開，上海事件互

前記事とくること、反対する
メリカ政府の意向がは

うしい手段以外に重要な
はかみの上見出れる。

府は日支紛争を以て
閣下米国政府と意見を

密接ぶ連絡互保つて秉

は去る廿二日在上海英國實業部の會合の席上、元市參事会員マニル氏は田英樹の一切の關係を

左改めて拒絕されて以来、米国は
対しては相当反感を抱いてゐる
様様である。

（東京セント）E支那軍事大會に
併し、オリンピック東京大会に
勝利期待される黒術の陸軍側代表

ପ୍ରକାଶକ

陸軍側選手は準備互

止
総委員会は飽くまで
と開催の既定方針に

英國政府は日支紛争輸入以降

密接ぶ連絡互保つて末

は去る廿二日在上海英國實業部の會合の席上、元市參事会員マニル氏は田英樹の一切の關係を

標榜である。

（東京セント）E支那軍事大會に
併し、オリンピック東京大会に
勝利期待される黒術の陸軍側代表

ପ୍ରକାଶକ

海上方面の日支決戦近きかき?

支那軍の勝味全然無し
弱兵は砲兵と機械化部隊

も精々
十二門
力至十

日本軍に對抗することは困難と見
る外無く、殊に
制空権 が略々日本側より手に帰し
た以上支那軍の勝味は全

北支出征皇軍恤兵義捐金募集締切後引続き申込者擴加しつゝあるに鑑み之等有志諸氏の希望に沿ふべく二回寄附金募集を決行す

金捐義兵恤
集募回二第

同胞各位

社團法人在亞日本人會後援四邦字新聞社

極東貿易調查書

御案内

昨年亞國外務省工發行された極東貿易調査委員会の調査報告書によれば、中國の極東貿易はこの様な如

木
本
対する認める爲め今回
花田海軍武官を聘へた記
に依り講演会を開催仕る可く
木門町三丁目大和人壽館

時局講演会
未^レ廿八日午後同僚

日時 八月廿八日午後六時半
場所 日本人会々館

既報一曰会主催、花田武官主講
とする時局講演会は来る廿八日午後六時半から日会館にて開催に決定

尚當日内讀演は細川通説官或
は古川武司書記生の西訳があ
りますから秀二世諸君の御ま
聽も歓迎致します

曰会婦人部定期検査は来る廿九日
午後三時より曰会館で開催される
が、当曰は候選選考ある故会員

昭和二年八月四日
同胞各位
社團法人在亞日本人會

ガトル蹴球俱樂部
安東商店が組織

染洗組合總會

安東商店一同は店主安東氏の後援の下にこの程“カトール”院組織したが、首脳には有室

会は別項廣告の如く来る甘利
午後三時より「ダルマ亭」に於
開催されることに五つた。

方面では兩軍僅かに五百米の距離で對峙してゐるところもある。楊樹浦方面では日本陸軍の上陸を感じた支那軍は粗界内に撤退し、粗界の東端であるホイントと宝山県にかけての線を死守せんとする模様である。然しこの線は過日敵目に間に日本海軍の猛撃を受け到底維持出来ぬ状態に在る。信すべき調査によると支那軍は大敗を有せめ師団が多く、之を有す

近衛首相の西園寺公訪問
曰支事変拡大対處方針は固く貴衆院兩院各派は全面的支持協力を得た近衛首相は更に西園寺公にも説明政府の決意を闡明諒解を求めるべく廿五日午後御戻場に赴いた

政府の準戦体制に財界呼應
財界では政府へとらんとする準戦時經濟体制を全面的に支持し、又は呼應して一大愛國運動を展開すべく手てエリ全国産業聯盟、東京商工会議所、日本經濟聯盟等有力經濟團體の首脳は色々協議中であつたが、右の財界有力者は廿五日九の内銀行俱樂部で財界有志懇談会を開催、種々協議の結果之が方針を決定した。

昭和十二年八月四日
日本会場
同 権 法 在 亞 日 本 人 會
同 権 各 位
君を推し何時にも試合に應
る由である。
同 人 染
染洗組合總会
組合定期
安東商店員一同は店主安東氏の
後援の下にこの程「カトール蹴球
午後三時より「ダルマ亭」に於
國立組織したが、首將には有富
安東商店員加組織
カトール蹴球俱樂部
日本会場定期總会は来る廿九日
午後三時より日本会館で開催される
が、当目は役員選舉もあら故会員
希望してゐる。

獨裁権の強制に急回転

独裁権の強制に急回転 前号でスターリンには嘘つきの要
い番人があつて雨三狼の襲来を告げ
告したといふのはエジョフ内務人民
委員並にデダーノフを指すのであ
る。前ヶペ・ウ長官のヤーゴダが如
何なる理由で失脚逮捕されたかの
眞相は判明されないが當時建設と
強制の両面面が恰ど平均してゐた
時期であつたからヤーゴダの強制
力が十分發揮出来なかつたことに
起因してゐるやうだ。このヤーゴ
ダの失脚によつて寧ろヤーゴダを
譁勃としてこれに取つて代つてエジ
ヨフはまだ四十二才の若者マハリ

方向転換は何处へ？

艦は急回転して独裁権の強制力を示す。奥本義といふことに極つてしまつたこゝに鼎の輕重を向はれた者に報告が實際とすれば彼は今日まで「エジヨウ」の元帥である。娘と一緒に寝て來たことになる。

方向転換は何处へ？

実行の時期に歴じてゐただけの一
とになつてしまつた。ソ聯の重工
業化案についてと新経済政策當時
から主張してゐただがトロツキ
らで、スターリンの左翼的暴行政
策はトロツキー派の主張を実行し
たとどいいへるのである。更に農村
問題についてもトロツキーラの農
民階級の役割過少評價が発揮され
貪農の革命推進力が誇大に主張さ
れただが現実の結果はこゝにトロ
ツキースムが勝利してゐる。即ち
現在カリ聯では農民が推進力であ
るよりはむしろその反対の帝政勢
力となつてゐる。スターリンが教
憲法においてあれだけ農民階級に

復活するといふ意味ではなく、
其の史家がソ聯のスターリン政
府に對して、トロツキーの批判が
しかつたと肯定することであつ
これほど怖いことは革命家に
つては、ことにスターリンにと
て外にないのである。國內の反
派は強權として彈圧すること
出來るが、史の批判は強權とこ
き左右することは出來ない。出
ることは現在に於てすなはち強
を擁してゐるうちに過誤を是正
立派に修正しておくほかはない。
スター・リン政策の苦悶は實にこ
れにあるだろう。

後第正くてとつ対はれられ東権じさくの舞台上に引出されたやうに、聯國と新憲法の前に解放することを一方う。恐怖政治が激しかれば、なほに次に来るべき解放か、正ひ各種の制約下にあつてども、自身になつてみれば、幸福と自由をすることが痛烈であろう。そうしてスターリンは得意となつて、軍事件に絡る國內検挙の嵐は、民に光明と幸福をもたらすために断行したのであつて、今や心分子は掃蕩された。新憲法下で生活を樂しめと出だいところである。

スターリン政権の行方

強制力の發揮にはダエルデンスキイを想起せしむる類作家である。彼はスターリン王国の畜人として少しでご胡乱奥いと見たものは容赦しきれなかつた。彼は曰独をどつて狼の親王と睨み国内においてヒ列石所スター・リンの花園を荒す仔狼を喰ぎ廻つた。そうして最後に赤軍部内の狼の姿を認めた彼は狼の義來をその主人に告げたのであつた。ここでスターリンは建設と強制との向れを執るべさかに迷つたに違ひない。しかしながらスターリンの眼には曰独両国といふ親狼の存在が

国であろう。スターリン政策は由來現実主義とする点に特徴があつてその理論方面にあつては時どきで知らぬ間にトロツキ一派の過去と並んで主張してゐた理論を知らぬに於て主張してゐた理論を知らぬで採用実行した例に乏しくない。その一例を挙げてみるとトロツキ一派の主張であつた黨内民主化問題即ち中央集権化の民主化問題がそれである。トロツキーらの主張してゐた時代はそれは時機尚早として退けられたが今日ソ聯では盛んに民主主義的中央集権が論議せられ着々実行に移されてゐる。これ程理論の点で不一致ではなく

さうにスターリンが社会主義建設政策の勝利をあれだけ世界に放送した拘らず今日聯内部の政治意識の減退が事実となり大規模な肅清工作を全国的に施行せねばならなくなつたことは或意味に於てトロツキーの予言が的中し、あるといけねばならぬそしてこのまゝ、スターリン政権が戦時共産主義時代と同様な恐怖政治をとつて肅清工作を今後何年か繼續せねばならぬとすればスターリン政策は事實上トロツキズムに対しても敗北であつたと断せられるのである。これは現実にトロツキーが苏联に

注ぎこんだ建設事業並びにスター
リン政策の金字塔である新憲法
そのまゝ、廟から廟へ葬つてしま
ふことはあるまい。ソ聯國民のスター
リンに対する失望と期待との間に
建設方面と新憲法に懸かつてゐる
とは極く公平に見て承認されでよ
いと思ふ。またこれあるかために
スター・リン政権に光明があるのか
あつて、この光明が消えて、たゞ
暗黒の恐怖政治と強制労働が残る
とすれば、如何なロシア民族とい
へども、これ以上は我が出来なから
う。そこで今後執るべきスター・エ
ンの方向は、暗黒世界からレヴ

て明暗二筋の政策をよく使ひ分
得るかは疑問の余地がある。た
ゞスターリン独裁政権にはこの連
と強制の二部曲を具備してゐる方
ども忘れられない点である。(一)

